



8 大会開催区分 北海道を札幌及び14管内に分けて行う。

9 参加資格

- (1) 北海道中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、北海道中学校体育大会への出場資格を得、当該学校長及び当該地区中体連会長が出場を認めた生徒とする。
- (2) 年齢は、平成20年4月2日以降に生まれた者に限る。
- (3) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は令和5年6月30日までに北海道中学校体育連盟に申し出ること。
- (4) 参加生徒の引率者及び監督は、校長・教員・部活動指導員とする。ただし、外部指導者の引率及び監督業務の遂行が認められている札幌市は、その限りではない。
- (5) 外部指導者（コーチ）は、校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。
- (6) 監督・引率者は、部活動指導中の暴力等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること。外部指導者（コーチ）は、校長から暴力等による指導措置が無いこと。
- (7) チームは、単一学校の生徒で構成されたものであること。
- (8) 北海道中学校体育大会に学校教育法第134条の各種学校（第1条に掲げるもの以外）と地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加を認める。
- (9) 北海道中学校体育大会における参加の特例

◎学校教育法134条の各種学校在籍生徒

- ①学校教育法第134条の各種学校（第1条に掲げるもの以外）に在籍し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
  - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
    - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 生徒の年令及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
    - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該校顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
  - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
    - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 北海道中学校体育大会参加に際しては、責任ある当該校校長又は教員が生徒を引率すること。また万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属する中学生

- ①地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）に所属し、北海道中学校体育連盟の各地区予選会に参加を認められた生徒であること。
- ②北海道中学校体育大会に参加を希望する地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は以下の条件を具備すること。
  - A 北海道中学校体育大会の参加を認める条件
    - ア 北海道中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
    - イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校に在籍している生徒であること）。
    - ウ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）にあっては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに適切に行われていること。
    - エ 『運動部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン』（令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
    - オ 当該競技を管轄する北海道競技団体もしくは地区競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で地区中学校体育連盟に登録していること。
    - カ 北海道における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
    - キ 地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。
  - B 北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件
    - ア 北海道中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 北海道中学校体育大会参加に際して、地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
    - ウ 北海道中学校体育大会への参加に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
    - エ 団体競技における地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）名での出場は1チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。
  - C 参加を認めない場合
    - ア 北海道中学校体育大会の参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

③北海道中学校ソフトテニス大会における地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の参加に関する細則

- A （公財）日本中学校体育連盟「全国中学校体育大会開催基準 7 参加資格 参加資格の特例」に記載されている内容を満たすこと。

- B スポーツ庁のガイドライン、地域クラブ活動の登録所在地の自治体や教育委員会のガイドラインを遵守すること。
- C 地域クラブ活動での出場は、「同一市町村」の中学校に在籍する生徒で構成されたものとする。ただし、その範囲は全国中体連につながる「最小予選大会」の規模まで拡大することができる。また、地域クラブ活動の登録所在地の地区から大会に出場すること。
- D 地域クラブ活動と中学校部活動との二重登録は認めない。また、所属移籍をした場合の大会出場は、全国中体連につながる予選から全国中体連終了まで、移籍による大会出場は認めない。
- E 中学校の部活動での監督、外部指導者（コーチ）は地域クラブ活動での参加は認めない。その逆も同様とすること。
- F 地域クラブ活動は、中体連主催の大会において、大会要項や運営等については中体連に一任すること。
- G 上記細則を満たさない場合、また虚偽の内容が判明した場合は、大会参加を認めない。

(10) 参加者は、開催要項に掲げる個人情報の取り扱いについて了承するものとする。

## 10 参加チーム数

札幌市（2）、管内代表（14）、開催地（1）、開催管内（1）の計18チームの男女とする。

- (1) 団体戦…上記の18の男女別代表チームとする。但し、参加チームが18に満たない場合は開催地の状況に応じて、開催地より2チームまで参加することができる。
- (2) 個人戦…札幌市男女4組、各管内男女各4組、開催地男女各4組の男女別各64組とする。

## 11 登録人数

- (1) 団体戦…監督1名、選手4名以上8名以内とする。
  - (2) 個人戦…監督1名、選手2名とする。
- \*団体戦、個人戦とも外部指導者（コーチ）を登録することができる。

## 12 大会規則

- (1) 現行の（公財）日本ソフトテニス連盟の『ソフトテニスハンドブック』及び大会開催要項による。
- (2) 団体戦は、予選をブロックリーグ戦とし、各ブロックの勝者により決勝トーナメント戦を行う。なお、ブロックの数は、4～6とし、原則として7ゲームマッチとする。
- (3) 個人戦はトーナメント戦とし、原則として7ゲームマッチとする。
- (4) 荒天時における団体戦は、トーナメント戦とする。
- (5) 団体戦、個人戦ともに3・4位戦は行わない。
- (6) 使用球は、公認球を使用する。なお、使用球については、大会事務局で決定するが、男子と女子で隔年ごとに変えるものとする。令和5年度は、個人戦・団体戦ともに、男子はアカエムボール、女子はケンコーボールとする。
- (7) 荒天等の理由により、競技方法及びゲーム数等を変更する場合がある。

## 13 組み合わせ抽選

団体戦・個人戦ともに、令和5年7月14日（金）午後1時より開催地（帯広市立翔陽中学校）において主催者、開催地、専門委員長の立ち会いのもと、公開で抽選を行う。結果については北海道中学校体育連盟ホームページ(<https://www.do-jpa.com/>)、北海道ソフトテニス連盟ホームページ(<http://hokkaidosofttennis.com/>)及び北海道中学校ソフトテニス大会実行委員会ホームページ（全十勝中学校体育連盟ホームページ(<http://tokachi-jpa.sakura.ne.jp>)）で公開する。なお、事務局では問い合わせには一切応じない。

- 14 参加料
- |        |                        |
|--------|------------------------|
| 団体1チーム | 20,000円                |
| 個人1組   | 5,000円を申し込みと同時に納入すること。 |

## 15 表彰

- (1) 団体戦
  - ①入賞は3位までとする。
  - ②1位には優勝旗、優勝杯（持ち回り）を授与する。
  - ③3位までの入賞者には、全員にメダルを授与する。
- (2) 個人戦
  - ①入賞は3位までとする。
  - ②1位には優勝旗、優勝杯（持ち回り）を授与する。
  - ③3位までの入賞者には、全員にメダルを授与する。

## 1.6 大会参加申し込み

- (1) 各地区代表は、地区中体連事務局を通して、所定の申込用紙により7月13日(木)必着で申し込むこと(郵送とメールの両方を行って下さい)。参加料も地区中体連一括とし、下記口座(次頁)に振り込むこと。
- (2) 各地区中体連事務局は、地区大会のプログラム2部を事前に全道大会事務局に送付すること。
- (3) 選手名簿提出後の選手・監督の変更及び追加については、校長の職印を押した(変更の可能性あり)所定の用紙に必要事項を記入し、監督会議前の受付時に提出すること。それ以外については認めない。

### 【 申し込み先 】

〒080-0806

帯広市東6条南12丁目2 帯広市立翔陽中学校内

第44回 北海道中学校ソフトテニス大会  
実行委員会事務局 田村 智巳 宛

TEL/FAX 0155-66-4417  
メールアドレス [alltokachi.jpa@gmail.com](mailto:alltokachi.jpa@gmail.com)

### 【 参加料 振込先 】

帯広信用金庫 東支店 (普通) 口座番号 1318529

北海道中学校ソフトテニス大会

実行委員長 櫻井 知克士 (サライ カシ)

## 1.7 宿泊

紹介する。「JTB 北海道事業部」<https://amarys-jtb.jp/softtennis/>を通して宿泊・弁当の紹介をする。

## 1.8 全国大会への参加

団体の男女とも優勝、準優勝した各2チーム及び個人の男女とも上位4組は、北海道を代表して全国大会への出場が認められる。全国大会へ参加する際、宿泊について、宿泊要項において実行委員会より斡旋されている場合は、斡旋された宿泊を必ず利用すること。また、移動については斡旋された航空機を使用するものとする。

- (1) 大会要項等は本大会終了後に配付する。
- (2) 全国大会は、令和5年8月21日(月)～23日(水)の3日間、今治市市営スポーツパークテニスコートにて開催される。

## 1.9 個人情報の取り扱い

- (1) 大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム、掲示板、ホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (2) 選手の大会成績はホームページ及び記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (3) 選手の写真は、記録集「闘志と栄光の軌跡」へ掲載するために利用する。
- (4) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。
- (5) 引率者または監督の連絡先は、大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。

## 2.0 開催要項・抽選結果等の公開について

開催要項や参加申込書、登録事項変更願、組み合わせ抽選結果等については、北海道中学校体育連盟ホームページ(<https://www.do-jpa.com/>)、北海道ソフトテニス連盟ホームページ(<http://hokkaidosofttennis.com/>)及び北海道中学校ソフトテニス大会実行委員会ホームページ(全十勝中学校体育連盟ホームページ(<http://tokachi-jpa.sakura.ne.jp>))に掲載する。

## 2.1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について

- (1) 参加者は、「北海道中学校体育大会におけるインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等に関わる大会参加等についての基本的な考え方について」を遵守し、大会に参加すること。
- (2) 今後、インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等の感染拡大によって、国や北海道などから大会開催についての指導・助言があった場合や、開催自治体などが当該地域において大会を開催することが難しいと判断した場合は、主催団体において大会の開催について改めて協議する。

## 22 その他

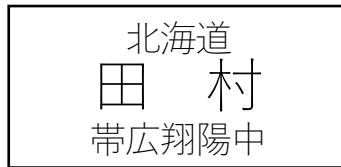
(1) 競技中の服装は次の通りとする。

### ① 選手

- ア 上は半袖のゲームシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、公認メーカーのものとし、服装の色などは華美にならないようにする。
- イ 荒天時に使用する室内用シューズを必ず用意すること。
- ウ 背中のゼッケンは、大きさB5版横（白地）とし、文字は都道府県名と学校名、姓とし、漢字または仮名を使用すること。直接スポーツシャツにプリント、刺繍したものは背ゼッケンとして認めない。
- エ 背中のゼッケンの位置は下記の通りとし、同一校（団体）に同じ姓の選手がいる場合は名前の1文字を記入する。

#### 【選手の背中ゼッケン】

(例) 帯広市立翔陽中学校 田村  
(B5版 白の台布に特大ゴシック体)



-----  
1/4 都道府県名(参考フォントサイズ=120)  
-----  
2/4 姓 (参考フォントサイズ=200)  
-----  
1/4 学校名 (参考フォントサイズ=120)  
-----

※他の市町村にも同名の学校がある場合は、市町村名を入れてもよい。

中学校は中の字を入れること。

拠点校で活動している学校の生徒は、練習を行っている学校名のゼッケンを着用する。

中学校以外の学校は学校名を入れ、地域スポーツ団は登録名を入れること。

- オ サポーター、テーピング、熱中症対策や紫外線対策としてのアンダーウェア・ロングアンダーウェア等の使用や着用を認める。その色は、（ステッチを含めて）白・黒・紺・ベージュの単色とする。
- カ はちまきをする場合は、正面に特別な文字や記号を記入もしくは印刷してはならない。

② 監督及び外部指導者（コーチ）のゼッケンは不要とし、IDカードで対応する。

(2) 特別な医療器具（サングラス・装具等）を使用するときには、医療用具使用届に必要な事項を記入し、監督会議前に提出すること。

※サポーター・テーピング・アンダーウェアの使用や着用の届けは不要とする。